

目 次

森 理 事 長 の 想 出	(1)
パルス式故障点標定器の現状	(3)
は し が き	(3)
1. インパルスによる故障点検出法の原理とその沿革	(3)
1.1 電力線における沿革	(4)
1.2 通信線における沿革	(4)
2. 通信線用パルス試験器	(5)
2.1 現用せるパルス試験器の方式について	(5)
2.2 各社製品例	(8)
3. 電力ケーブル用パルス試験器	(10)
3.1 特 徴	(10)
3.2 装 置 例	(11)
4. 架空送電線用閃絡点標定器	(13)
4.1 概 説	(13)
4.1.1 そ の 特 徴	(13)
4.1.2 各試作品の方式	(13)
4.1.3 長短所の比較	(13)
4.2 各所試作装置の方式とその特徴	(14)
4.2.1 三菱電機試作A型(直接サージ法)標定器	(14)
4.2.2 電力技術研究所試作B型(搬送波信号方式)標定器	(14)
4.2.3 電気試験所試作C型標定器	(15)
4.2.4 東芝鶴見研究所製作C型標定器	(15)
4.2.5 三菱電機試作ACパルス式C型標定器	(15)
4.2.6 東京大学藤高研究室試作F型標定器	(16)
4.2.7 日立研究所試作F型標定器	(16)
4.2.8 電子管計数器	(17)
5. 使 用 実 績	(17)
5.1 通信線における試験結果	(17)
5.2 電力ケーブルにおける試験結果	(20)
5.3 架空送電線における試験結果	(22)
6. 衝撃波伝送に関する検討	(25)
6.1 容量結合方式における単一線路衝撃波の伝送	(25)
6.2 三相送電線における衝撃波の伝送	(26)
6.2.1 伝送波の減衰並びに変歪	(27)
6.2.2 印加波の印加端における分波割合	(27)
6.2.3 到来波の透過	(27)
6.2.4 一線接地故障の故障点における反射波の分波	(28)
6.2.5 数 値 計 算	(28)
7. 今後に残された研究問題	(28)
7.1 通信線に関して	(28)
7.2 電力線に関して	(29)
結 言	(30)
附 パルス式故障点測定研究連絡会提出資料の類別	(30)
電気協同研究会最近の動き	(32)